



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：原油減産計画を否定する石油相発言等（5月14日付テヘラン・タイムズ紙他）

イランで石油減産が報じられている。だが石油相も石油省次官も否定している。

1. ノーザリ石油相発言（13日）（14日付ケイハン・インターナショナル）

(1)イランは、現時点において原油減産は計画していない。我々は、今後、現在の原油輸出の状況を確認し、その後増産または減産について決定するだろう。現在イランは平均で日量240～250万バレルの原油を輸出しているが、世界の原油市場の状況によって、日量300万バレルまで増加するときもあれば、日量200万バレルまで減少する時もある。

(2)イラン石油省は、定期的に原油の生産量と輸出量について検討している。我々は、原油市場の状況に基づいて変動する原油輸出量について見当しているだけのことであり、（市場の需要に基づいて）輸出量は増加も減少もするであろう。原油市場の状況を検討して輸出量を決定することは、毎週行っている極めて通常のことである。

2. コルダン石油省次官（13日）（14日付テヘラン・タイムズ）

原油輸出量は、季節的な条件によって減少する。しかし、これは小規模な減少であり、石油省の計画には何の影響も与えないであろう。今回の減産に関する検討についての報道は誤りである。